

現状と課題

対応策

松橋駅前の賑わいの創出方策について

- ❑ かつて松橋駅の比較的近い場所に産交バスの停留所があり、昭和30年に移設したことにより、松橋駅東口界隈が空洞化。
→ バスターミナル（ロータリー）の移転は松橋駅東口活性化の起爆剤となるか。
- ❑ 松橋駅周辺に店舗が少なく暗いため、活気に欠ける他、防犯面での心配が多い。
- ❑ 松橋駅前にバスターミナルを設置するのであれば、市としての大きな絵（パース図）を描くことができれば民間の協力も得られやすいのではないかな。
- ❑ 必ずしもバスターミナルを設置する必要があるか。バスロータリーを設置すれば十分ではないかな。
- ❑ 松橋駅前に待合室等やカフェ等の待機場所が必要ではないかな。
→ 楽しく待てる、一定の時間をくつろげる空間が必要。

- ① バスターミナルの松橋駅前の移転可能性の検討。
- ② 仮に移転の必要性があるとするれば、各関係者の合意の下、どのようなスキームで行うべきかの検討。
- ③ カフェ、ファーストフード等の進出を促進させるための空間の提供。
- ④ バスターミナルを核とした松橋駅前活性化推進に係る全体構想（又はパース図）の策定が重要。
- ⑤ バス事業者、商店関係者、地域住民の意見を聴取し、ニーズを踏まえた施設等の整備。
- ⑥ 乗降客が一定時間、待機できる場所を設置することが必要。（カフェ、ファーストフード、イートインスペース等の入居できるスペース（施設）の確保。）

公共交通対策の改善方策に関する提案(松橋駅前の賑わい創出)

提案内容

対応策

1. JR松橋駅周辺の賑わい創出に向けた公共交通関連施設の整備可能性の検討

- ① a. 整備を前提とした場合の必要な規模や機能の検討
- ③ b. バス事業者、商店関係者、地域住民に対する必要な機能や施設のニーズ調査
- ④ c. 生活利便機能を持ち合わせた複合施設設置の必要性の検討
- ⑥

2. 公共交通関連施設を整備する場合の事業スキームの検討

- ② a. 官民連携による効率的な事業スキームの検討
- ④ b. バス事業者、商店関係者、地域住民の合意形成の進め方の検討
- ⑤ c. 松橋駅前の全体構想やイメージパース図の策定検討

3. 駅前の活性化に向けた民間投資を促進するための道路整備の検討

- ④ a. 県道14号から市道御領駅前線への進入可否の検討
- ⑤ b. 県道松橋停車場線を中心とした駅前交通環境整備の検討



公共交通関連施設を整備するとした場合、まずは官民連携による効率的な事業スキームや全体構想を策定する等、実現可能性のための調査が必要

松橋駅前の賑わいの創出方策について